

【引受保険会社】

CHRONOGRAPH

【クロノグラフ】



〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

**株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)
型**

2009年度
(2009年4月～2010年3月)
特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の株価指数連動追加年金のお支払のための資産は、特別勘定で運用を行います。
 - ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の特別勘定の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。また、本保険契約の「型」または「特別勘定」単位の情報を掲載しております。
 - ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
 - ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 - ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- * 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) 型 特別勘定の現況 (2009年4月～2010年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2009年4月～2010年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比+26.52%上昇の978.81ポイント(前期末は773.66ポイント)で終了しました。

8月までは、世界的な景気底入れと金融システム安定化への期待感などを背景に上昇基調が続き、900ポイント台後半まで上昇しました。その後、急速な円高の進行や新政権の政策に対する不透明感などを受けて11月末までは軟調な展開となり、800ポイント台前半まで下落しました。しかし、期末にかけ、円高が一服したことや日銀の追加的金融緩和、景気回復期待による米国株式市場の上昇などを受けて再び上昇に転じました。

業種別(東証33業種)では、景気回復期待と資源高から「卸売業」(前期末比+52.71%)が最も上昇した一方、日本航空が上場廃止となった「空運業」(同-53.49%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+42.68%上昇の10,856.63ポイント(前期末は7,608.92ポイント)で終了しました。

10月までは、金融システムの安定化や予想を上回る企業業績などから大幅に上昇しました。11月以降、ドバイの債務問題やギリシャの財政悪化懸念などによる景気の先行き不透明感が嫌気される局面もありましたが、低金利政策の継続などを好感し、上昇基調で推移しました。

欧州株式市場も、上昇しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+44.66%上昇、仏CAC40は同+41.56%上昇、独DAXは同+50.65%上昇となりました。米国と同様に、世界的な景気回復期待を背景に大幅な上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、揉み合いの動きが続きました。新発10年国債利回りは1.395%となりました(前期末は1.340%)。

国内外での景気底入れ期待を背景とした株高と国債増発による需給悪化懸念などから6月に一時1.5%台半ばまで上昇しました。しかしその後は、景気回復期待や財政問題を背景とした需給悪化懸念などによる金利上昇圧力と、日銀のデフレ克服に向けた低金利政策の長期化やドバイの債務問題などを背景とした債券買いによる金利低下圧力が交錯し、概ね1.2～1.4%台のレンジで揉み合いながら推移しました。

日銀は、政策金利を据え置き、年0.1%を維持しました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、金利上昇しました。景気回復期待と国債需給悪化懸念などから上昇基調で始まり、6月には米10年国債利回りは一時4%台まで上昇しました。その後、FRB(米連邦準備制度理事会)の低金利政策継続観測などは債券の買い材料となり、3%台前半まで金利は低下しましたが、2月にFRBが公定歩合を引き上げたことや景気回復期待などを背景とした株高などにより、期末は3.826%(前期末は2.663%)となりました。

欧州債券市場は、やや金利上昇しました。底堅い景気指標などから6月には独10年国債利回りは3.7%台に上昇した後、米市場に連動して堅調に推移しました。11月のドバイの債務問題や12月のギリシャの国債格下げなどを背景に、期後半は相対的に安全と見られる独国債が選好された結果、期末は3.092%(前期末は2.994%)となりました。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は、政策金利を4月と5月に0.25%ずつ引き上げ、年1.0%としました。

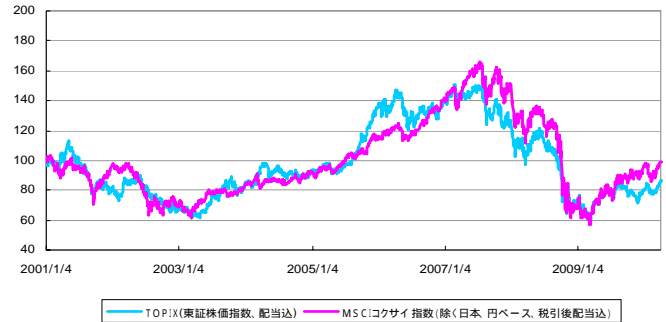
【外国為替市場】

外国為替市場は、円高基調で推移しました。米ドル/円相場は、米国における低金利政策の長期化観測や、日本の新政権による円高容認観測などを受けて円高基調で推移しました。11月下旬にはドバイの債務問題による避難先通貨として円買いが強まったことから、1ドル=86円台まで円高が進行しました。期末には、円は対ドルで前期末比5円19銭(+5.28%)円高ドル安の1ドル=93円04銭となりました。

ユーロ/円相場は、1月の中旬まで概ね130円台で推移しましたが、ギリシャの財政悪化懸念を受けてリスク回避の動きが強まると、ユーロは対主要通貨で売られ、急激にユーロ安円高が進みました。円は対ユーロで前期末比4円92銭(+3.79%)円高ユーロ安の1ユーロ=124円92銭となりました。

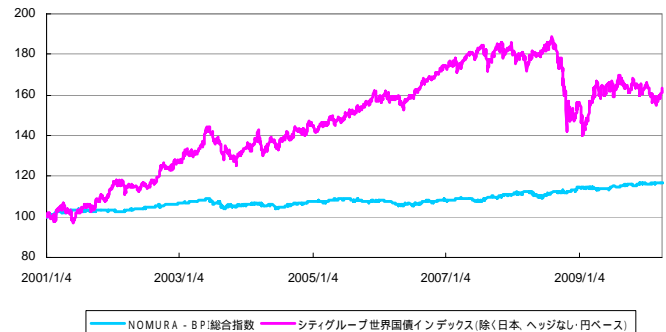
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

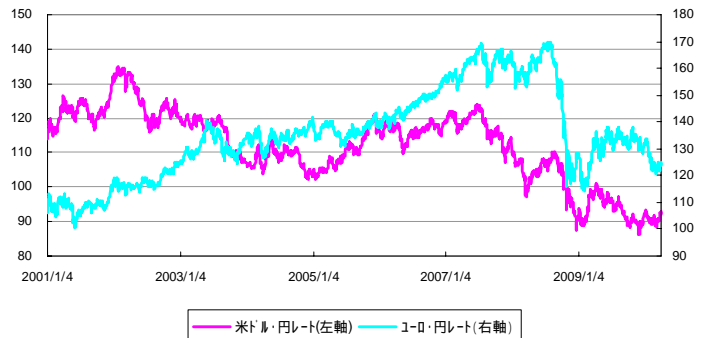


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) 型 特別勘定の現況 (2009年4月～2010年3月)

当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定の運用方針について

【資産運用に係る基本的性格】

- ◆ この保険の株価指数連動追加年金のお支払いのための資産は、資産運用の成果が、株価指数連動追加年金原資額の増減につながるため、この保険の基本年金のお支払いのための資産(米国債券などの公社債を主な運用対象とし、一般勘定で運用します。)は他の保険種類の資産とは区分して管理・運用を行う必要があります。そのため当社は特別勘定を設け、特別勘定資産を他の資産とは独立した体制と方針に基づき運用します。
- ◆ 特別勘定は、ご契約日を同一とすることにご契約ごとに設定します。
- ◆ 特別勘定資産の運用は一定の収益も期待できますが、一方で対象株価指数の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る、または全くない場合があります。特別勘定資産の運用結果は、株価指数連動追加年金原資額および積立金額に直接反映されることから、資産運用の成果と投資リスクがともにご契約者に帰属することになります。

【目的と運用方針】

- ◆ 据置期間(ご契約日から10年間)満了までご契約を継続するご契約者に対して、所定の株価指数の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資を基本年金原資に上乘せすることを目的とし、これを運用方針とします。

米ドル・円 外国為替市場の推移

(2009年4月～2010年3月)

【米ドル・円 外国為替市場の推移】



当該グラフで表示している為替市場は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) 型 特別勘定の現況 (2009年4月～2010年3月)

当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績

2010年3月末日現在

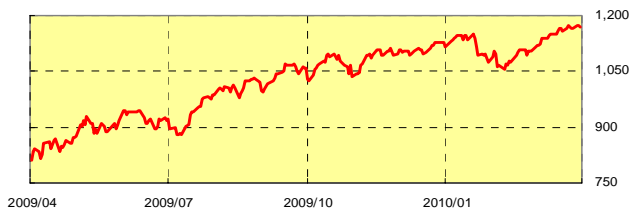
【運用コメント】

当特別勘定資産は、世界を代表する10株株価指数の毎年の最高の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資額を確保することを目的として、当社がエクイティ・インデックス・スワップ取引を行うことによって運用しました。

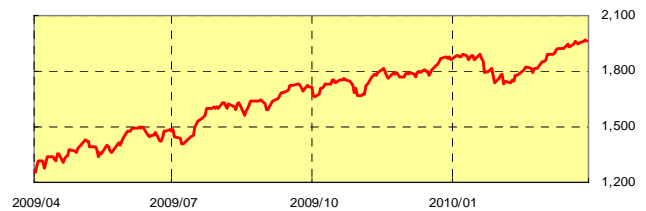
当社は、特別勘定に繰り入れた金額を用いてエクイティ・インデックス・スワップ取引を行い、世界の10株株価指数のパフォーマンスによって変動する将来の追加年金原資額の給付を確保するための運用を行いました。

【世界の10株株価指数の推移】 (2009年4月～2010年3月)

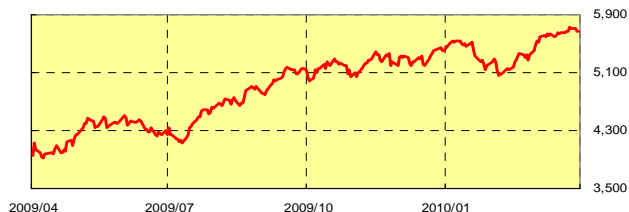
[S & P 500 (アメリカ)]



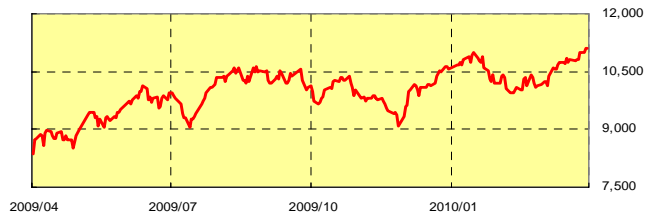
[NASDAQ100 (アメリカ)]



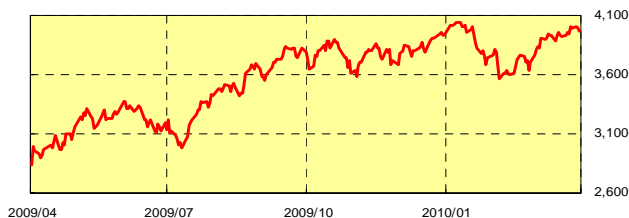
[FTSE100 (イギリス)]



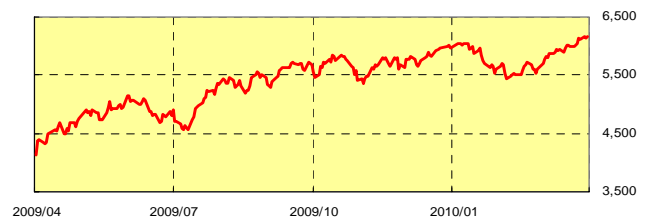
[日経平均株価 (日本)]



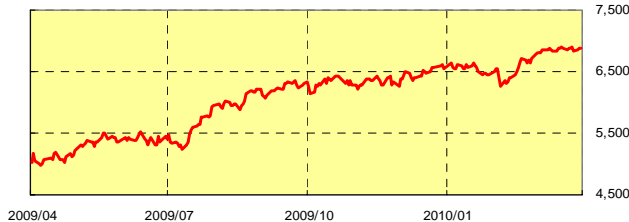
[CAC40 (フランス)]



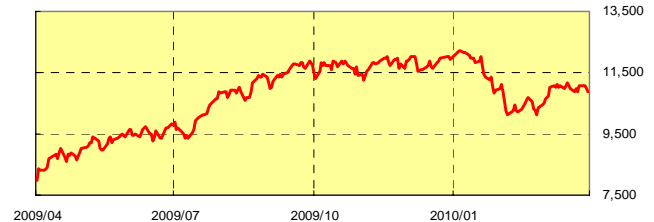
[DAX (ドイツ)]



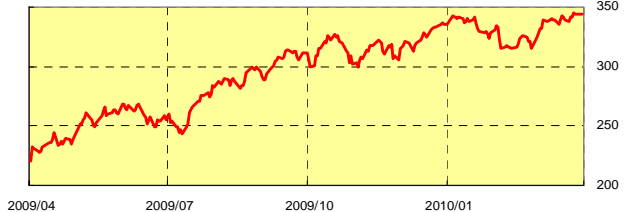
[SMI (スイス)]



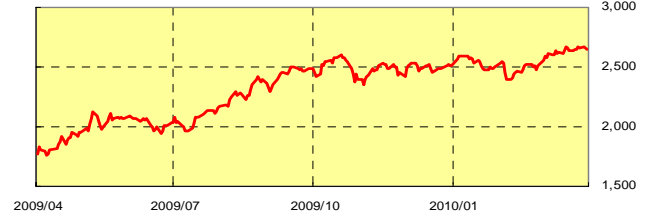
[IBEX35 (スペイン)]



[AEX (オランダ)]



[BEL20 (ベルギー)]



【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) 型 特別勘定の現況 (2009年4月～2010年3月)

当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。

株価指数の変動実績

2010年3月末日現在

【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】

(2010年3月末日までに最も上昇した株価指数と確定した特別勘定ごとの上昇率を以下に記載いたしました。)

特別勘定 (契約年月日)	最も上昇した株価指数と上昇率							
	第1保険年度末		第2保険年度末		第3保険年度末		第4保険年度末	
2005年 5月1日	日経平均株価	53.1%	DAX	22.7%	NASDAQ100	2.2%	-	0.0%
2005年 6月1日	日経平均株価	34.6%	DAX	38.1%	NASDAQ100	5.9%	-	0.0%
2005年 7月1日	日経平均株価	31.5%	DAX	43.4%	-	0.0%	-	0.0%
2005年 8月1日	日経平均株価	25.7%	NASDAQ100/DAX	30.6%	-	0.0%	-	0.0%
2005年 9月1日	日経平均株価	22.7%	DAX	28.1%	-	0.0%	-	0.0%
2005年 10月1日	BEL20	25.6%	DAX	30.9%	-	0.0%	NASDAQ100	14.8%
2005年 11月1日	IBEX35	30.2%	NASDAQ100	27.7%	-	0.0%	IBEX35	29.3%
2005年 12月1日	IBEX35	32.7%	DAX	22.0%	-	0.0%	NASDAQ100	48.8%
2006年 1月1日	IBEX35	30.7%	DAX	22.2%	-	0.0%	NASDAQ100	56.3%
2006年 2月1日	IBEX35	26.6%	NASDAQ100	1.7%	-	0.0%	NASDAQ100	47.5%
2006年 3月1日	IBEX35	21.3%	NASDAQ100	2.1%	-	0.0%	NASDAQ100	62.8%
2006年 4月1日	IBEX35	24.9%	-	0.0%	-	0.0%	AEX	62.7%
2006年 5月1日	DAX	30.0%	NASDAQ100	2.2%	-	0.0%		
2006年 6月1日	DAX	42.7%	NASDAQ100	5.9%	-	0.0%		
2006年 7月1日	DAX	44.5%	-	0.0%	-	0.0%		
2006年 8月1日	DAX	28.1%	-	0.0%	-	0.0%		
2006年 9月1日	DAX	28.0%	-	0.0%	-	0.0%		
2006年 10月1日	DAX	27.2%	-	0.0%	NASDAQ100	14.8%		
2006年 11月1日	DAX	24.4%	-	0.0%	IBEX35	29.3%		
2006年 12月1日	DAX	18.4%	-	0.0%	NASDAQ100	48.8%		
2007年 1月1日	DAX	19.5%	-	0.0%	NASDAQ100	56.3%		
2007年 2月1日	-	0.0%	-	0.0%	NASDAQ100	47.5%		
2007年 3月1日	DAX	2.8%	-	0.0%	NASDAQ100	62.8%		
2007年 4月1日	-	0.0%	-	0.0%	AEX	62.7%		
2007年 5月1日	NASDAQ100	1.9%	-	0.0%				
2007年 6月1日	NASDAQ100	4.6%	-	0.0%				
2007年 7月1日	-	0.0%	-	0.0%				
2007年 8月1日	-	0.0%	-	0.0%				
2007年 9月1日	-	0.0%	-	0.0%				
2007年 10月1日	-	0.0%	NASDAQ100	14.8%				
2007年 11月1日	-	0.0%	IBEX35	29.3%				
2007年 12月1日	-	0.0%	NASDAQ100	48.8%				
2008年 1月1日	-	0.0%	NASDAQ100	56.3%				
2008年 2月1日	-	0.0%	NASDAQ100	47.5%				
2008年 3月1日	-	0.0%	NASDAQ100	62.8%				
2008年 4月1日	-	0.0%	AEX	62.7%				
2008年 5月1日	-	0.0%						
2008年 6月1日	-	0.0%						
2008年 7月1日	-	0.0%						
2008年 8月1日	-	0.0%						
2008年 9月1日	-	0.0%						
2008年 10月1日	NASDAQ100	30.9%						

- ・記載の「上昇率」とは、据置期間満了日までの各保険年度末日における各株価指数の終値と、その直前の保険年度末日における各株価指数の終値(第1保険年度の末日における計算においては、計算開始日における各株価指数の終値)とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・保険年度末日における全ての株価指数の上昇率がゼロまたはマイナスであった場合は、その保険年度末日に確定する株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。
- ・上記の計算を、計算開始日以後、据置期間満了日までの各保険年度末日に行います。(据置期間満了日までに10回計算します。)
- ・「終値」とは、各日末(日本時間)において当社が入手できる最新の終値を指します。
- ・記載の上昇率はあくまでの2010年3月末日までに確定した上昇率であり、将来の各株価指数の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) 型

特別勘定の現況 (2009年4月～2010年3月)

当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定資産評価額

2010年3月末日現在

特別勘定(契約年月日)	特別勘定資産評価額(米ドル)
2005年5月1日	327,540.45
2005年6月1日	371,549.70
2005年7月1日	888,085.55
2005年8月1日	489,537.90
2005年9月1日	329,078.40
2005年10月1日	330,294.72
2005年11月1日	3,747,250.52
2005年12月1日	5,922,482.53
2006年1月1日	4,851,205.24
2006年2月1日	2,736,566.14
2006年3月1日	4,027,198.67
2006年4月1日	7,617,419.26
2006年5月1日	2,382,718.12
2006年6月1日	5,115,152.23
2006年7月1日	3,394,373.74
2006年8月1日	1,770,477.45
2006年9月1日	1,779,193.75
2006年10月1日	2,389,622.70
2006年11月1日	1,576,034.16
2006年12月1日	1,233,831.23
2007年1月1日	1,173,499.87
2007年2月1日	628,913.87
2007年3月1日	728,840.77
2007年4月1日	1,612,165.26
2007年5月1日	581,694.48
2007年6月1日	592,879.26
2007年7月1日	647,213.87
2007年8月1日	702,541.34
2007年9月1日	697,203.10
2007年10月1日	612,325.74
2007年11月1日	374,067.28
2007年12月1日	823,113.74
2008年1月1日	302,141.85
2008年2月1日	403,476.94
2008年3月1日	293,527.38
2008年4月1日	428,606.26
2008年5月1日	142,180.47
2008年6月1日	148,806.27
2008年7月1日	81,879.20
2008年8月1日	84,400.80
2008年9月1日	195,199.46
2008年10月1日	251,435.06
合計	62,785,724.73

- 記載の特別勘定資産評価額は、特別勘定ごとの2010年3月末日時点における合計値となっています。
- 特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- 金額の単位未満は切り捨てています。
- 記載の特別勘定資産評価額は、株価指数の推移・変動性、金利情勢、及び解約・減額等による特別勘定の積立金額の払い戻しなど諸要因によって変動します。
- ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) 型

特別勘定の現況 (2009年4月～2010年3月)

当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

(参考情報) 本保険契約の予定利率および連動率

特別勘定(契約年月日)	適用予定利率	基本年金原資保証率	連動率B(型)
2005年 5月1日	4.25%	115%	56.00
2005年 6月1日	3.85%	110%	54.70
2005年 7月1日	3.85%	110%	57.30
2005年 8月1日	3.85%	110%	61.00
2005年 9月1日	3.85%	110%	58.90
2005年 10月1日	3.85%	110%	58.20
2005年 11月1日	3.85%	110%	63.00
2005年 12月1日	4.25%	115%	56.60
2006年 1月1日	4.25%	115%	57.00
2006年 2月1日	4.25%	115%	58.00
2006年 3月1日	4.25%	115%	58.50
2006年 4月1日	4.25%	115%	58.60
2006年 5月1日	4.25%	115%	59.80
2006年 6月1日	4.80%	120%	66.00
2006年 7月1日	4.80%	120%	67.40
2006年 8月1日	4.80%	120%	70.50
2006年 9月1日	4.80%	120%	71.10
2006年 10月1日	4.80%	120%	75.50
2006年 11月1日	4.80%	120%	74.10
2006年 12月1日	4.25%	115%	67.20
2007年 1月1日	4.25%	115%	64.70
2007年 2月1日	4.25%	115%	64.70
2007年 3月1日	4.25%	115%	62.40
2007年 4月1日	4.25%	115%	67.90
2007年 5月1日	4.25%	115%	64.80
2007年 6月1日	4.25%	115%	65.40
2007年 7月1日	4.80%	120%	68.20
2007年 8月1日	4.80%	120%	62.60
2007年 9月1日	4.80%	120%	60.80
2007年 10月1日	4.25%	115%	60.10
2007年 11月1日	4.25%	115%	53.50
2007年 12月1日	4.25%	115%	55.60
2008年 1月1日	3.85%	110%	50.60
2008年 2月1日	3.85%	110%	54.00
2008年 3月1日	3.40%	105%	45.00
2008年 4月1日	3.40%	105%	48.00
2008年 5月1日	2.90%	100%	48.20
2008年 6月1日	3.40%	105%	50.00
2008年 7月1日	3.40%	105%	45.80
2008年 8月1日	3.85%	110%	46.90
2008年 9月1日	3.85%	110%	44.60
2008年 10月1日	3.40%	105%	41.70

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) 型 リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は一時払保険料のうち一定割合の金額を特別勘定に繰り入れ、エクイティ・インデックス・スワップ取引により、所定の10株価指数に連動した運用を行う米ドル建の個人年金保険です。

所定の10株価指数(S&P500、NASDAQ100、FTSE100、日経平均株価、CAC40、DAX、SMI、IBEX35、AEX、BEL20)の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る場合、またはまったくない場合があります。

【為替リスクについて】

この保険は米ドル建ですので、外国為替相場の変動による影響を受けます。

年金や給付金などを米ドル建でお受け取りになる場合には、円に換算した年金や給付金などの額が、ご契約時における外国為替相場によって円に換算した年金や給付金などの額を下回る場合があります。同様に、お受け取り時における外国為替相場によって円に換算した年金受取総額などが、お払い込み時における外国為替相場によって円に換算した一時払保険料を下回る場合があります。

【市場価格調整について】

基本払いもどし金額は、米国債券などの運用資産の価値が反映(市場価格調整)されますので、解約(減額)時の所定の市場金利により増減し、経過期間にかかわらず一時払保険料相当額を下回る場合があります。

【諸費用について】 (下記の各費用の合計額をご負担いただきます。)

<ご契約時にかかる費用>

項目	費用
契約初期費用	契約時に一時払保険料から初期費用として 9.9% を控除します。

<据置期間中にかかる費用>

項目	費用
保険契約管理費	基本保険金額に対して 年率0.2% を責任準備金から控除します。
株価指数連動追加年金原資の管理費	基本保険金額に対して 年率0.16% を責任準備金から控除します。
為替手数料	・ 保険料円入金特約を付加して米ドル建の基本保険金額(一時払保険料)を計算する場合は、当社が保険料円換算額を受領する日のTTMレート+90銭(円入金用レート)の為替手数料がかかります。 ・ 円支払特約の適用により年金や死亡給付金などを円でお受け取りになる場合は、年金の場合は年金支払開始日、死亡給付金額などの場合は当社が所定の必要書類を受付けた日の翌営業日のTTMレート-40銭(円出金用レート)の為替手数料がかかります。なおこれらのレートは将来変更となることがあります。 TTMレートは、所定の金融機関が公示するその日最初のTTMレート(対顧客電信売買相場仲値)となります。
送金手数料	年金などを米ドル建でお受け取りいただく場合、当社からの送金にかかる手数料は、お客さま(受取人)に負担していただきます。ただし、「円支払特約」を適用される場合には、当社が負担します。金額については送金する金額や取扱金融機関によって異なるため表示できません。

<年金支払開始日以後にかかる費用>

項目	費用
年金管理費	年金額に対して 1.0% を年金支払日に責任準備金から控除します。

年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他重要な顧客不利益事項】

米ドル建での基本年金原資保証

基本年金原資額の最低保証は米ドル建で行われるため、据置期間満了日の外国為替相場によっては、円に換算した基本年金原資額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>